

下水道管路の全国特別重点調査にかかる調査結果について(報告)

埼玉県八潮市での道路陥没事故を受け、国土交通省から実施要請のあった「全国特別重点調査」について、市内約 49 k mの下水道管路を対象として、令和 7 年 5 月 30 日から現地調査を実施。

調査結果について、令和 8 年 4 月 21 日に公表済みの中間報告(33.8 k m分)に加え、最終結果を報告するもの。

1 調査期間

- ・ 令和 7 年 5 月 30 日～令和 8 年 3 月 31 日

2 対象施設

- ・ 直径2m以上で設置後30年以上経過した下水道管路 49.1km
 ※このうち、令和8年2月末時点で調査結果が判明した33.8kmについては、令和8年4月21日に国交省の全国結果に合わせて公表済

3 調査方法

- ・ 目視調査(管内の潜行調査及びドローンを使った調査)
 ※水量が多い箇所や硫化水素濃度が高い箇所はドローンを活用
- ・ 空洞調査(「緊急度Ⅰ」または「緊急度Ⅱ」と判定された箇所の路面調査)

4 調査結果

- ・ 調査結果が判明した下水道管路において、道路陥没につながる破損は確認されませんでした。

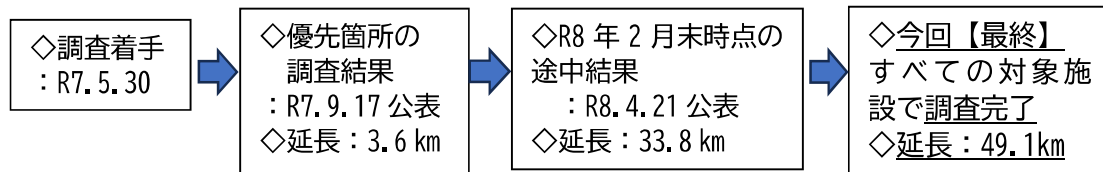
<内訳>

- ・ 下水道管路に劣化等の異常なし : 41.3 k m
- ・ 原則1年以内に対策が必要な下水道管路「緊急度Ⅰ」: 5.0 k m
- ・ 5年以内に対策が必要な下水道管路 「緊急度Ⅱ」: 2.8 k m

5 今後の対応

- ・ 引き続き、「緊急度Ⅰ」及び「緊急度Ⅱ」と判定された下水道管路については、緊急度に応じて補修・更新を実施します。

○特別重点調査の流れ



○調査結果及び要対策延長（全体）

【単位：km】

公表日	対象	異常なし	緊急度Ⅰ	緊急度Ⅱ
R7.9.17	3.6	2.1	0.9	0.6
R8.4.21	33.8	28.3	3.7	1.8
今回	49.1	41.3	5.0	2.8

○緊急度による下水道管路の内部の状態

【緊急度Ⅰ】とは、管内部の表面のコンクリートが剥離し、鉄筋が露出している状態

【緊急度Ⅱ】とは、コンクリートの表面が碎石でざらついているのが見える状態

○対策工法のイメージ(緊急度Ⅰ)

【鉄筋が露出したコンクリート管の内部】

鉄筋露出

既設管と更生管の概要図

対策工事の状況(市内)

【対策例①】
既設管の内部に、新たな管(更生管)を製作

【鉄筋が露出したコンクリート頂板】

鉄筋露出

As補装

鉄筋

既設Co床板

補強鉄筋

ポリマーセメント
モルタル吹付

吹付け協会 HP より引用

【対策例②】
鉄筋補修、セメントモルタルの吹き付けで補強